

## 平成26年度 経産省産業技術関係予算 概算要求

	25年度 当初予算	26年度 概算要求	対前年 増減額
産業技術関係予算 (科学技術関係予算)	5,323 億	7,148 億程度 (うち、優先課題推進枠 1,282億円程度)	+ 1,825 億程度
うち、一般会計	1,302 億	1,516 億程度 (うち、優先課題推進枠 302億円程度)	+ 214 億程度
うち、科学技術振興費	1,017 億	1,229 億程度 (うち、優先課題推進枠 287億円程度)	+ 212 億程度
うち、エネルギー特別会計	3,082 億	4,374 億程度 (うち、優先課題推進枠 980億円程度)	+ 1,292 億程度
うち、東日本大震災復興特別会計	112 億	352 億程度	+ 240 億程度

※ 四捨五入の結果、合計が一致しない場合がある。

## 福島・被災地の復興加速

○福島・被災地の復興の加速を図ることを最優先とし、被災者の方々に寄り添いながら、国の責任において復興の加速に取り組んでいく。

○加えて、再生可能エネルギーや医療機器・創薬、ITセキュリティ検証に関する先導的な研究開発・実証を東北の地で行うことにより、関連産業の集積といった一連の経済効果が被災地に循環する環境を整え、被災地の産業復興・雇用創出を図る。

- ・ 発電用原子炉等廃炉・安全技術基盤整備事業 125億円(87億円)
- ・ 産総研による福島再生可能エネルギー研究開発拠点機能強化 16億円(9億円)
- ・ 福島県における先端ICT実証研究拠点整備事業 8億円(新規)
- ・ 東北復興再生に資する重要インフラIT安全性評価・普及啓発拠点整備・促進事業 5億円(5億円)

## 日本再興戦略の迅速かつ確実な実行

注：( ) 内は25年度予算額

### ①戦略市場創造プラン

○「日本再興戦略」に示された戦略市場の創造に向けた研究開発を実施する。

#### (1)国民の「健康寿命」の延伸

- ・ 未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 43億円(新規)
- ・ 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 60億円(新規)
- ・ ロボット介護機器開発・導入促進事業 30億円(24億円)

#### (2)クリーン・経済的なエネルギー需給の実現

- ★ 次世代パワーエレクトロニクス技術開発プロジェクト 60億円(20億円)
- ★ 再生可能エネルギー貯蔵・輸送等技術開発 22億円(11億円)
- ★ 革新的新構造材料等技術開発 61億円(41億円)
- ★ 次世代自動車向け高効率モーター用磁性材料技術開発 30億円(30億円)
- ・ エネルギー・環境新技術先導プログラム 40億円(新規)
- ・ 革新的製造プロセス技術開発(ミニマルファブ) 25億円(7億円)

#### (3)安全・便利で経済的な次世代インフラの構築

- ・ インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト 41億円(新規)
- ・ 次世代高度運転支援システム研究開発・実証プロジェクト 10億円(新規)

#### (4)世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現

- ・ 三次元造形技術を核としたものづくり革命プログラム 45億円(新規)
- ・ ファインバブル基盤技術研究開発事業 5億円(新規)

### ②科学技術イノベーション環境の整備

○我が国のイノベーションシステムを駆動させるため、産学官の連携・府省連携の強化に取り組む。

- ・ 研究開発型ベンチャー支援事業 30億円(新規)
- ・ 産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業 5億円(5億円)
- ・ R&D税制の拡充
- ・ 世界最速・最高品質の特許審査のための任期付審査官の確保(103人)

### ③我が国の優れた技術の国際展開の推進

○我が国の高い技術力を海外市場に展開するため、現地の実情に合わせた研究開発・実証を行うとともに、戦略的な国際標準化を推進する。

- ・ 国際研究開発・実証プロジェクト 25億円(20億円)
- ・ 戦略的な国際標準の獲得 64億円(17億円)

★は未来開拓研究プロジェクト(経産省・文科省が連携の下で、学術研究から実用化まで一気通貫に進めるプロジェクト)。